



Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

週報

仮例会NO 8 (発行NO)

1990. 10. 3 (発行日)

国際ロータリー第275地区
東京多摩グリーンロータリークラブ

1990 ~ 1991

RIテーマ

ロータリーを高めよ

— 思いを尽くし熱意を尽くし —

RI会長

パウロV.C. コスタ

■■■■■■第 8 回仮例会報告 (9/26) ■■■■■■

特別代表 由井 重光

拡大補佐 篠塚 武雄

司会 副幹事 小城 章員

☆点 鐘 会長 田中 實

☆ロータリーソング「手に手つないで」

ソングリーダー 菊池 敏

☆EPA紹介 会長 田中 實

石坂 文夫 (東京多摩RC)

久嶋 達也 (東京多摩RC)

【乾杯】 SC会長 石坂 文夫

初めての夜間例会に出席させて頂きました。SCも昨夜、横倉(舜)、大熊両会員の送別の記念例会と東南アジア、ブラジルの交換学生を招待し国際親善を深める夜間例会をしました。

東京多摩グリーンロータリークラブの益々の御発展を祈念致しまして乾杯。

☆会長報告 会長 田中 實

* 9月20日に多摩東分区の会長・幹事会に出席しました。

* 10月11日のI. M (インターシティ・ミーティング) に全員参加するよう要請されました。

* 11月5日狛江多摩川RC認証状伝達式にも全員参加をお願いします。

* 環境保全委員会設置を要請されました。委員長を横倉恒雄、副委員長を橋本幸夫会員をお願いします。

* 本日チャーターナイト (RC認証状伝達式)

準備委員会第1回会合を開催しました。私は出来るだけ盛大に立派に計画を立てて頂くようお願い致しました。

* 本日例会終了後第2回クラブ協議会を開催致します。

☆幹事報告 幹事 宮本 誠

* 事務局員が決まりました。大交エリガントな奥様で10月1日から出勤します。

* 写真を撮っていない会員は早く撮って下さい。

* 会員カードを出していない会員もいます。なるべく早く提出して下さい。

* 10月11日I. Mには石原慎太郎先生の記念講演があります。移動例会で全員登録です。

* 狛江多摩川RCチャーターナイトの全員登録とは向こうからも全員来て頂くということを要請する事です。登録料1人2万円です。クラブで立替えておきます。

* 10/3の例会は多摩そごう休館のため、例会場をサンピア多摩に移動します。

☆委員会報告

★出席委員会 大熊 将夫
出席報告

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	33	28		5	84.85%
前回訂正	33	28		5	84.85%

【欠席届者】

足立、遠藤、隅、津守、吉原

※ メールボックスに「出席について」多摩RCの週報を入れてあります。

★親睦委員会

萩生田茂夫

10月18日の親睦コンペに横倉恒雄会員が都合がわるいので内藤実会員にお願いしました。



ニコニコBOX

由井 重光 新クラブ誕生、1ヶ月が無事終りそうなので。

石坂 文夫 総会后初めて参りました。御発展をお祈り申し上げます。

篠塚 武雄 初めて例会場にきました。とても素晴らしいですね。

久嶋 達也 田中さん、宮本さん昨日は面接でお世話になりました。

田中 實 事務局員が採用でき、良い人で安心しました。

宮本 誠 エレガントな事務局員が決まりましたので。

海野 栄一 久しぶりにハーフ30台が出ました。

内藤 実 初出席に際し。

横倉 恒雄 ヨロシク

萩生田茂夫 皆様ヨロシク

小島周二郎 青少年奉仕委員会活動方針が決まって。

伊神 稔 ロータリーを早く理解出来る様

高野 範城 北欧三国の調査旅行から無事帰って。

戸田 範寿 本日は本来講義があるのですが休講となりましたので。

赤尾 恭雄 初めての夜間例会で、しかもイニシエーションスピーチのトツパッターとは。

吉尾警太郎 初めてのニコニコです。

深海源四郎 次第に先が見えて来ました。

橋口 洋三 前回の例会の写真が撮れなかったので、ペナルティー。

大松 誠二 自由に想像的なクラブに発展されん事を!

奥木 博勝 チャーターナイト準備会ミーティング遅刻欠席のため、ニコニコ笑ってお許しを!

大熊 将夫 初めての夜間例会が楽しみです。多摩クラブの先輩ようこそ。

菊池 敏 SAAの委員として参加してみましたが、うまくゆかず皆様に御迷惑をかけました。

城倉 正博 いつも楽しいグリーンクラブ。

北村 幸彦 先週休んでしまったので。

以上合計 ￥61,000円

★会報委員会

橋口 洋三

*会報委員会は私、小島、吉田会員の3人で担当しています。

*週報のファイルが出来上がりました。メールボックスに入っています。週報は多摩GRCの第1歩からの記録を載せてあります。NO1からNO7までをファイルして下さい。欠席されて欠番、足りない方は事務局まで。

*前回の多摩市長さんの卓話は小島会員に担当して頂きました。テーブルから原稿を起こして、原稿を多摩市長の秘書に目を通して頂いて編集して校正したものです。

*テーブルから原稿にするのが大変です。皆様をお願いします。この壇上で喋った事は週報に載せます。メモが原稿にして週報委員会に渡して下さい。

★雑誌委員会

奥木 博勝

予定より早く「ロータリーの友」がまいりました。各メールボックスに入れてあります。ロータリーを理解するには先ず「ロータリーの友」を精読することを奨励します。又私達委員会はロータリー精神の啓蒙と会員増強の際のアプローチに役立てるようになりたいと思います。このような基本方針で雑誌委員会は進んでいきます。



★米山奨学事業委員会 吉田 文夫

本日、米山奨学事業推進委員会が日本工業クラブ（3～5時）であり出席して参りました。10月に米山梅吉氏が亡くなられた月で寄付を集める強調月刊になっております。皆様に御援助をお願いしたいと思います。

次の例会に多摩RCの方から米山奨学事業委員会から米山梅吉氏の解説をお願いして今後の対策を考えたいと思います。

★情報委員会 横倉 舜三

本日配られました「ロータリーの友」9月号5頁にロータリー加盟国は168から172に増えた経緯が載っています。本日発行の多摩GRC週報のロータリー用語解説 N02に記載してある168を172ヶ国に訂正して下さい。



■イニシエーションスピーチ■

【駆け出しロータリアン雑感】

赤尾 恭雄

去る9月5日の東京多摩グリーンロータリークラブの創立総会を契機として、名実共にロータリアンの一員となり、地域社会のなかで新たな多数の友人を、しかも短期間にして得られたことに深く感謝の念を抱くものでございます。



さて、私は、都立第一商業学校を経て、昭和28年に早稲田大学第一政治経済学部を卒業、それ以来約37年余りに亘り、不動産関連業務一筋に生きてまいりました。その間、昭和48年に不動産鑑定士の資格を取得いたしましたが、丁度その頃は前職の(株)サミットストア開発部に在職中であり、新店舗のチェーン化に多忙を極めていた時期でもあったため、つつい独立の機会を失しながら昭和63年7月定年退職を迎えました。

しかしながら、その間も不動産鑑定業務から全く離れていたわけではなく、昭和60年頃

までの12年間は、地価公示及び都地価調査の評価員を兼務し、かつ、昭和53年頃委嘱された八王子税務署管内の土地評価精通者については現在も継続して委嘱を受けております。昨年からは多摩都市計画多摩第一工区区画整理審議会委員も努めさせて頂いております。

前職を定年退職後の約6ヶ月間は、サラリーマン時代の鬱憤を晴らすかのごとく、夫婦同伴で旅行三昧を試み、北海道、九州、静岡と国内旅行を重ね、最後はオリエント急行でヨーロッパの旅を体験致しました。私共には幸か不幸か子供がなく、気軽さも手伝ってか夫婦ともども結婚生活30年の汗と埃を流す機会を得ました。

ヨーロッパ旅行から帰って約1ヶ月後の昨年4月、現職の不動産鑑定事務所を開設致しましたところ、サラリーマン時代にご交誼を頂いた多数の方々からのご支援もあってほぼ順調に推移しており、今更ながら人間関係の尊さと重さを痛感致しております。

従って、家庭生活も、子供にこそ恵まれなかった私どもですが、今こそ人生最高の幸せを感じながら「財より心」をモットーに、日々精神的な豊かさを追求し続けつつ、輝ける老後を迎えたいと願っており、家内も経済企画庁及び東京都の物価モニターとして社会的協力的一端を担わせて頂きながら、夫婦ともども共通の思想と目的をもって努力いたしております。

この度、ロータリアンの末席を汚させて頂くに当り、基本的な事で所感を述べさせて頂きます。それはクラブ例会への出席義務についてですが、私はこれをロータリアンに与えられた貴重な権利であると理解しております。我々は地域社会の中で、しかも職域を代表して選抜かれた人々の集団であり、ロータリアンなればこそ与えられた交流の機会ではないでしょうか。ロータリークラブはあくまで地域社会をベースに成立し、地域社会への奉仕を究極の目的としている以上は、クラブ定款もクラブ細則も地域社会をベースに読み代えて理解すべきではないかと考えます。義務となれば苦痛を感ずることも、権利と理解すれば苦痛も和らぎ、やがて習慣づけば必ずや

苦痛も快楽に転化する時がくると考えます。

駆出しのロータリアンである私としては、例会出席権を十二分に行使し、尚一層親睦を深めながらロータリー知識の学習と実践に努めたいと考えます。

最後に、東京多摩グリーンロータリークラブの永遠の繁栄を祈念致します。

†

【私はスペインに住みたい】

大松 誠二

大松です。職業は「土木測量」となっていますが、正確に言いますと、法認の士「土地家屋調査士」という資格で事務所を開いております。多摩の市役所の前です。主な内容は、土地の境界を確定して測量し、土地を分ける分筆登記、地積を直す地積更正登記、建物を新築した時は建物表示登記を申請する。そういう業務で、事務所も15年位になります。多摩には10年以上です。どなたの場合も同じでしょうが、開業して当初は無我夢中、仕事の消化にほとんど徹夜の毎日、事務所の床に子供を寝かせながら、私の家内も手伝ったものです。仕事が順調にしているということが励みとなって、無理が続けられたと思うのですが、5年位たって過労が元で急性肝炎に倒れました。即、入院となって、ストップした仕事の山を同業の仲間が手分けして片づけ助けてくれました。あの時の感謝は今も忘れられません。調子の良い時の友達と苦しい時の友達、二種類いる様ですが。

そして、病院で点滴を受けながら見ていたテレビドラマも忘れられません。山田太一作の「岸辺のアルバム」、八千草薫、竹脇無我が出ていた当時評判のドラマで、多摩川の狛江の新興住宅地で、洪水のため、最後に家が



流されてしまう。それと共に平和だった家族の結末もそれぞれのエゴイズムと秘密で崩れていってしまう。ドラマの中では異色なもので、私も少なからずショックを受けました。ベットのなかで、それまでの仕事人間の自分を見つめなおす契機になったと思う。仕事のためにはなく、人間のために仕事があるのだと。勿論未だ、仕事中毒は完治していないが、少しずつ、もつと幅広い人間として生きてゆきたいと自分では思っています。昨年のロータリークラブのテーマは「エンジョイロータリー」とか、いかにもびったりのジテーマではないですか（勘違いしてるかな）。

先週も、バルテノン多摩に小沢征爾指揮の「サロメ」を見に行きました。残酷なテーマ（恋人の首を切り落とす）のオペラですが、実に大胆で感動的な音と歌の結合でした。音楽、絵画、そういう、仕事を離れた時間を充実させたいと思う。昨年も思い切って12日間ヨーロッパに旅行しました。仕事のお客さんの渋い顔が見える様でしたが、時間は自分で作るもの、それを実行したという事です。誠に充実した旅行でした。特にスペイン、イタリアが長年の夢でしたが、又いつかと思っています。スペイン語は独学で1年学んでそれから行ったのですが、将来、移住してしまうかも、とも半分本気で考えています。全てに挑戦して行く気持ちは忘れないでいきたい。今晚も本当は一本杉球場でナイターの野球をやっている筈でした。未だ野球の現役選手です。他にも水球やゴルフもやっています。

「エンジョイロータリー」「チャレンジロータリー」といきたいものです。限られた人生なのですから。ありがとうございました。

『ロータリアンらしさ』

を忘れず

『ロータリアンらしく』

に全力を!!